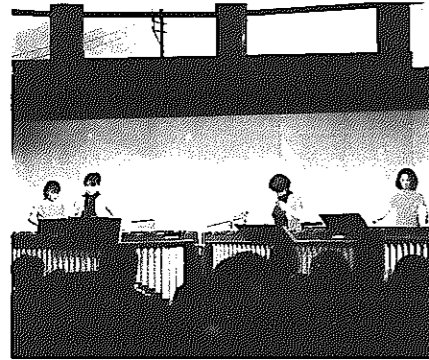


絶妙のハーモニー 幻想的な音色

しろね大鳳と歴史の館
イストリアコンサート

身近な情報をお寄せください
(白根市役所企画財政課広報広聴係
☎373・2111)



五月二十二日、しろね大鳳と歴史の館でパーカッションアンサンブル「イストリア」のコンサートが同館友の会主催で開かれました。「イストリア」というグループ名は、ポルトガル語で「おとぎ話」という意味。新進の女性マリナー奏者四人が「ジャンルにこだわらず、いろいろな音楽を表現していきたい」と幅広く演奏活動を行っています。

コンサートでは、かぐや姫が昇天するシーンを表現した「月宮殿」など四曲を演奏。絶妙な音の重なりが幻想的な雰囲気をもたらし、聴衆は息をのんで演奏に聞き入っていました。アンコールには、四人が体を叩いてリズムを刻む「ハンドダンス」を披露。客席からは大きな拍手が送られていました。

ある女性は「マリナーだけの演奏はめったに聴けないもの。体に響きわたるすてきな演奏でした」と感激した様子で話していました。



▲「新施設は複合施設が望ましい」とする塚田先生。

■複合施設
「地域の人にあれだけ理解され、頼りにしてもらっている理科センターは他にはありません。就任中

は本当に楽しかったですね。塚田先生は、白根市と小須戸町がその範囲。学校の先生の理科の授業研修や市民の星空観察会や植物観察会など、科学を題材とした催しが多数開催されています。

「ガソリンの単位がジュールに変わるから」と、スタンドから問い合はされたこともありました。

地域に溶け込んでいる背景には、その場所の良さがあります。塚田先生は言います。「他のセンターはたいいてい学校の中にある。だから市民との交わりがない。白根は公民館や図書館と一緒に存在している。一般の人が気軽に利用できる。複合施設の良さがあるんです」。就任中、生涯学習センターの建設検討委員を務めていた塚田先生はその良さを訴えてきました。「理科センターで分らないことがあれば図書館へ行ける。公民館と共催で何かやるときも便利。一つの建物の中でいろんな機能が波及し合えるわけです」。

そして市の活動との連携。「公民館との共催事業は多い。親子工作教室など、センターのノウハウをうまく生かしています。新施設でも今の体制はぜひ維持してほしい」と言っています。

■子供と科学
夏休みの終盤、理科センターには草花や昆虫、貝がらなどの標本を抱えた子供たちがやって来ます。初めて見る生き物について、図鑑を調べたり職員に聞いたりする子供たちの目は輝きます。「小さいうちはみんな理科が大好きなんです。それが中・高校生になるにつれて嫌いになっていく。先進国の中で、日本の高校生の理科に対する興味は最低ランク。試験の影響もあるでしょう」と塚田先生。

市民の、特に子供たちの生涯学習に科学は格好の題材。「そのために地域と自然の橋渡し、つまり触媒となる先生がいるのといないのとでは差が大きい」と言います。「大人が「自然はきれいだろう、すこいだらう」と押しつける必要はありません。子供はいつた興味を持って長く続く。将来、自分の時間を生かした趣味につながっていきます。それが本当の生涯学習でしょう」と力を込めました。

運載・見えてきた拠点(仮称)生涯学習センター④ 人気の理セン、地域に科学の芽



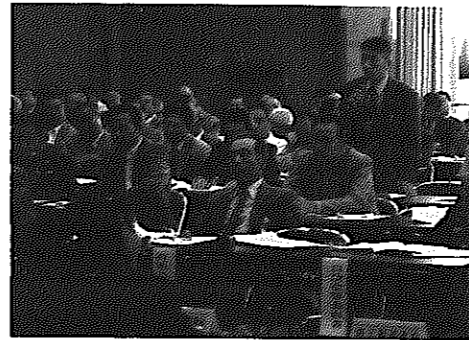
▲夏休みの終わり、理科センターには自由研究のため、たくさんの子供たちが。

県内に二十八ある理科教育センター。教育委員会庁舎にある白根地区センターは、白根市と小須戸町がその範囲。学校の先生の理科の授業研修や市民の星空観察会や植物観察会など、科学を題材とした催しが多数開催されています。

「ガソリンの単位がジュールに変わるから」と、スタンドから問い合はされたこともありました。

地域に溶け込んでいる背景には、その場所の良さがあります。塚田先生は言います。「他のセンターはたいいてい学校の中にある。だから市民との交わりがない。白根は公民館や図書館と一緒に存在している。一般の人が気軽に利用できる。複合施設の良さがあるんです」。就任中、生涯学習センターの建設検討委員を務めていた塚田先生はその良さを訴えてきました。「理科センターで分らないことがあれば図書館へ行ける。公民館と共催で何かやるときも便利。一つの建物の中でいろんな機能が波及し合えるわけです」。

そして市の活動との連携。「公民館との共催事業は多い。親子工作教室など、センターのノウハウをうまく生かしています。新施設でも今の体制はぜひ維持してほしい」と言っています。



五月二十三日、カルチャーセンターで自治会等代表者連絡会議が開かれました。これは地域と市政の橋渡しである自治会長と、市三役や関係課長などが一堂に介して意見交換を行うというものです。

会議には市内の自治会長約百八十人が出席し、地域の意見や要望を市側に提言。「排水の状況が悪く困っている」などの苦情や、「市に温泉施設を造ってはどうか」などの意見、「旧消防庁舎の跡地利用は」といった質問などが多数出されました。これに対し市側は具体的な計画や検討状況を明らかにするなど、市政談義が熱っぽく続けられていました。

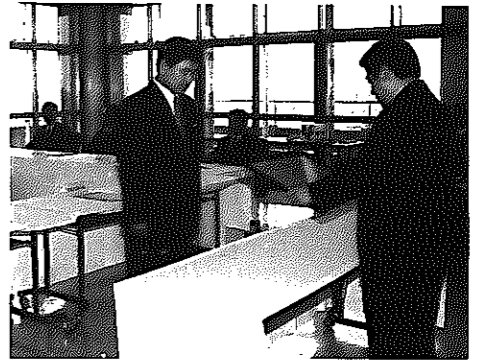
この日は、十年以上自治会代表者を務められた永年勤続自治会等代表者四人が表彰されました。表彰を受けた方々は次のとおり。

【永年勤続自治会等代表者】
大谷龍吉(砂押)、狩谷松雄(桜町一)、霜島進平(保坂)、相馬忠治(諏訪木四) ※敬称略



市政談義 盛り上がる

自治会等代表者連絡会議



自治や産業などに貢献
市政功労者表彰式
六月二日、市役所で市政功労者表彰式が行われ、自治や産業などで市政の振興に功績のあった七人と一団体が表彰され、竹内市長から表彰状が贈られました。市ほう賞規則に基づき表彰を受けた方々は次のとおりです(敬称略)。

【自治功労】長谷川一栄(上塩俵・五十歳)、柏一(下木山・四十八歳)；多年にわたり市議会議員として市政の発展に寄与 高橋松次(曙町・七十三歳)；多年にわたり市監査委員として市政の発展

スポーツに親しめる環境整備を

第一回スポーツまちづくり懇談会



五月二十二日、第一回スポーツまちづくり懇談会がカルチャーセンターで行われました。

懇談会は、今年度市が策定する「スポーツ振興計画」に、市民の声を反映させようと組織。委員には、市体育協会やスポーツサークルなどの団体から推薦された十五人が委嘱されました。

計画は、平成十年度から十九年度の十年間が実施期間で、市民が「いつでも」「どこでも」「自分の好む形式」で生涯にわたってスポーツに親しめるように環境を整備することを目的としています。

委員は、計画の基本構想について原案を検討。さらに、コミュニティスポーツ、競技スポーツ、スポーツ推進体制・施設の三つに分かれてスポーツ振興のための具体策なども検討する予定です。

スポーツまちづくり懇談会の委員は次のとおりです(敬称略)。

▼松尾正行(魚町五)▼池田英幸(魚町四)▼新田健富(大通南)▼野川真優美(高井興野)▼渡辺吉明(大通南四)▼小林圭二(東笠巻新田)▼引野健二(白根第一中学校)▼小林敏裕(根岸小学校)▼田辺忍(中山)▼渡辺キヨ(横町乙)▼星スイ(横町甲)▼筒井則己(五六の町二)▼長谷川雄大(平湯新田)▼和泉徹(桜町二)▼半戸恵美子(高井東二)

自治や産業などに貢献

市政功労者表彰式

に寄与 徳永徳一(鍋湯・七十九歳)；多年にわたり文化財保護審議会委員として市政の発展に寄与 笹川豊(五六の町四・五十八歳)；多年にわたり生涯学習推進協議会委員として市政の発展に寄与 川口禮子(中央通一・六十八歳)；多年にわたり青少年問題協議会委員として市政の発展に寄与 【産業功労】 笠原優(上鷲ノ木・五十八歳)；観光農業経営のパイオニアとして市農業の発展に寄与 【感謝】 白根北中学校後援会；白根北中学校に対し施設を寄付